

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

②施設・事業所情報

名称：よろこびの庭	種別：就労継続支援A型・地域生活支援事業（日中一時支援事業）	
代表者氏名：小原 幸	定員（利用人数）：20（10）名	
所在地：岡山県倉敷市黒石257-1		
TEL：086-430-1500	ホームページ： https://yorokobi-npo.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 22 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人よろこび		
職員数	常勤職員： 5 名	非常勤職員： 8 名
専門職員	管理者 1 名	（生活支援員） 1.5 名（常勤換算）
	サービス管理責任者 1 名	管理栄養士 0 名
	（医師：嘱託） 0 名、（看護師） 1 名	
施設・設備の概要	多目的室（1）・（2）・（3） 指導訓練室・事務室・相談室□	電気設備・給排水衛生設備・空調換気設備・防災設備

③理念・基本方針

ご利用者様によろこびと感動満足を与え続ける、働きがいのある職場作りと社員の幸福をめざす社会福祉に貢献する集団を創る。障害を抱える人や家族にとって心安らぐ「集う庭」のような存在でありたいと考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

就労継続支援A型・・・社会生活の自立を目指して、生活面の支援にも力を入れている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6 年 2 月 8 日（契約日） ～ 令和 6 年 3 月 31 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 令和 年度）

⑥総評

◇特に評価が高い点

地域との連携して、畑仕事や農作業の手伝い、玩具の検品や詰め合わせも行っている。展示用の鯉のぼりの清掃から最終的には大手への就職にも繋がった。日中一時作業もあり、福祉に関わらず「市民参加型」のイベントには施設の理事がメンバーの一員となっていて、開かれた社会を目指している。職員は「当たり前のことを当たり前ができる」を常に考えていて、施設内外を問わずわからないことがあれば教えるように配慮している。フォローとして、何かあれば面談を実施して話し合う場を設け、他の関係機関とも連携をして広い視野で解決できるようにしている。利用者の特性に合わせてスペースを確保して、作業効率を上げている。就労後のことを視野に入れているので、どの職種にも対応できるように人員配を置している。それが功を奏して、毎年3名の利用者が一般就労していることにも表れている。

◇改善が求められる点

事業所の運営方針を書類にすることで、職員間で「見える化」を図ってほしい。職員の個人目標を設定して、会議等で振り返り、新たな発見や成長に繋げて高みを目指してほしい。地域との関りをさらに深めるために、災害訓練を地域の方を交えて行い、連携を図って頂きたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事業で取り組んできたことを他者から評価されることで、職員のモチベーションが上がるとともに、更にご利用者さんの支援を丁寧にしていかなければならないという気持ちになりました。今までの事業運営の振り返りや今後の改善点が見えてとても有意義であったと思います。

⑧第三者評価結果（別紙）

(別紙)

障害者・児施設

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○a・b・c
<コメント> 理念は玄関、作業所、相談室に掲示している。家族の方へは、入職時にパンフレットを活用して説明している。利用者へは、朝礼時に説明をして、わかりやすい言葉で伝えるようにしている。開設当初より変更することなく、理事長の想いが詰まった理念となっている。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅰ-2-(1)-①	事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○a・b・c
<コメント> A型事業所の集まりやに研修に参加した際に、地域の動向や現在の状況を把握している。売り上げについても日々念頭に置いている。1年前に実地指導があり、運営面を再確認する機会となった。		
Ⅰ-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	○a・b・c
<コメント> 利用者の確保や作業能力の向上を図れるように取り組んでいる。毎年の事業報告書により経営課題を確認している。また、日中一時支援事業にも積極的に取り組み、視野を広げている。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>中期計画は、報酬改定に合わせて3ヶ年計画で実施している。年間計画として、「一般企業への就職を平均1名は出す」を目標に掲げている。前年度は3名、今年度は1名の就労に繋がった。</p>		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		○a・b・c
<p><コメント></p> <p>上記に同じ</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		a・○b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画は職員に周知しているので、全体で把握できている。何か気づいたことがあれば、随時見直せるような体制となっている。</p>		
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。		a・○b・c
<p><コメント></p> <p>利用者には目標を伝えることでやる気を高めて頂いている。また、給料に繋がることも理解して頂いている。家族への説明会は行ってないが、説明が必要な場合は随時答えるようにしている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>サービスの質を高めるために第三者評価を実施して、次に活かそうと考えている。コロナ禍では、新たな作業を開拓した結果、焼き菓子メーカーの仕事の受注に繋がった。</p>		
I-4-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・ c
<p><コメント></p> <p>今回の第三者評価結果を参考にして、今後の見直しを進めるように検討する。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者は、職員や利用者がより良い環境で作業できるかを常に考えていて、日々の業務に取り組んでいる。何かある場合には、業務日誌や口頭で伝えて情報の共有をしている。</p>		
Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員や利用者が働きやすいように環境整備を行っている。職員全員が研修を受けられるように配慮している。また、参加できなかった職員へは、参加した職員よりフィードバックする機会を設けている。</p>		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-①	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>職員間でサービス内容について話し合いを行い確認している。虐待防止や人権擁護の研修にも積極的に参加するように促している。今後は、定期的に評価や分析を実施して、より質の向上を目指して取り組みように改善中である。</p>		
Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>職員間でベクトルを合わせられるように情報共有を行っている。人員配置に配慮することで、より良い職場環境作りに努めている。職員全員がどの仕事を担当しても、できるように配慮しているので、リスク管理にも繋がっている。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>正社員の8割が資格保有者で、介護福祉士(3名)、自動車整備士(1名)、看護師(1名)、保育士(2名)がおられる。職員全員がどの仕事を担当しても、できるように配慮しているので、リスク管理にも繋がっている。</p>		
Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>資格保持者には手当により評価をしている。産休への配慮や子育て世代への働き方改革を実施して、職員に安心して働いて頂ける環境を作っている。管理者より課題を明示することで、職員のやる気向上にも努めている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	(a)・b・c
<p><コメント></p> <p>有給休暇を積極的に取得できるよう配慮し、資格保持者には手当により評価をしている。産休への配慮や子育て世代への働き方改革を実施して、職員に安心して頂いている。管理者より課題を明示して職員のやる気向上に努め、ワーク・ライフ・バランスにも配慮している。</p>		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>職員とはコミュニケーションを取って連携を図っている。定期的話し合いの場を設けて意見の聴取ができている。今後は、目標設定して、職員の意識を高められるように取り組む予定である。</p>	
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>年間研修計画に基づいて実施している。内部や外部研修にて、身体拘束や虐待防止、地域のシンポジウムに参加した。外部研修を受けた際には、フィードバックをして意識を高めている。研修後には、報告書を挙げて職員間で確認している。</p>	
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>積極的に研修に参加できるように勤務体制の調整を行っている。取得できる資格については受講を促しているので、介護福祉士やサービス管理責任者の取得に繋がった。新入職員はここ数年は入職しておらず、定着率が良い。</p>	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>倉敷支援学校や琴浦高等支援学校、ハローワークからの受け入れ要請がある。また、A型事業所を知りたいという企業があれば、随時体験を受け入れている。その結果、1年間で10名以上の方が訪れた。</p>	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>理事長が町内の住民なので、情報が手に入りやすい。HPにて理念や活動内容を記載して「見える化」ができています。うさぎカフェや母親の会などのイベント時に、パンフレットを配布している。また、地域の音楽祭に参加して交流を深めた。今回初めて第三者評価を実施して、結果は今後の参考にする方針。</p>		
Ⅱ-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>経営改善計画書を作成した際には、専門家による経営診断を行った。経営会議で出た内容は、職員に周知して情報の共有をしている。内部監査として税理士を通じ、毎月の売り上げ確認も行っている。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流と連携・地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>利用者から「一人暮らしをしたい」という意見が出た際には随時対応し、必要時には利用者に同行している。ジャズイベントや婚活支援、マルシェや駅前のイベントにも積極的に参加している。また、支援仲間の方からの情報提供がある。</p>		
Ⅱ-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>見学や実習生の受け入れは可能。ここ数年はなかったが、ボランティアは随時受け入れは可能としている。倉敷支援学校や琴浦高等支援学校、ハローワークとの連携も取れている。</p>		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-①	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>不定期ではあるが、何か気になることがあれば情報提供を行っている。一般就労された企業より再度就労へのお願いがあった。企業から就労支援の求めている人材についての情報提供や何かあれば利用者に対して助言するようにしている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>地域のイベントに参加して、関係機関や団体とは連携を図り、交流を深めている。支援者向けのプラットフォームを利用して様々な情報を得ている。コロナ前には、近隣のGHと連携して、利用者は夏祭りに参加できた。</p>		
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>支援者向けのプラットフォームを利用して利用者や家族のニーズを把握している。プラットフォームで行われるイベントや利用者・支援者向けの研修に参加している。他の機関とも連携して、地域コミュニティの活性化を図っている。また、防災対策として市の職員と相談もできた。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>権利擁護や虐待・身体拘束研修に参加した。意見箱(何でもBOX)を作業場に設置して、随時意見を聴くことが出来るシステムを構築している。運営規定は作業場の誰でも閲覧できるように設置している。また、モニタリングを通じて利用者尊重や基本的人権への配慮も行っている。</p>		
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>プライバシー研修を開催し、学びを深めている。契約時に情報開示の同意書を頂く。利用者が作業しやすいように適材適所に配置することで、環境整備にも配慮している。</p>		

<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>	
<p>Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>a・(b)・c</p>
<p><コメント></p> <p>必要に応じて専門員と連携を図り、個人の希望に沿って情報提供をしている。パンフレットは必要に応じて配布している。利用者にわかりやすいようにな言葉遣いに配慮し、見学や体験希望にも対応している。</p>	
<p>Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>a・(b)・c</p>
<p><コメント></p> <p>個別面談で利用者本人や必要に応じて、相談支援員や家族も含めた会議を行っている。何かあれば、わかりやすく丁寧に説明して理解して頂けるように配慮している。</p>	
<p>Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>a・(b)・c</p>
<p><コメント></p> <p>利用終了後も本人・家族との交流は行っている。必要時には他機関との連携を図り、サポートも行っている。情報を提供する際には、文書化してわかりやすくするように工夫している。</p>	
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>	
<p>Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>a・(b)・c</p>
<p><コメント></p> <p>半年ごとに個別面談を実施して、利用者から意見を聴取している。出た意見は、職員会議にて全体で周知を図っている。利用者アからの意見を参考にして、女性利用者用の休憩所兼ロッカーを配置した。コロナ前には、日帰り旅行を慣行したこともある。</p>	
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	<p>a・(b)・c</p>
<p><コメント></p> <p>重要事項説明にて説明をしている。ここ最近は大きな苦情はなく、何かあれば、職員間で話し合っ解決するようにしている。意見箱(何でもBOX)を作業場に設置し、意見を聴くことが出来るシステムを構築している。</p>	

	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>重要事項説明にて説明をしている。ここ最近は大きな苦情はなく、何かあれば、職員間で話し合っ解決するようにしている。意見箱(何でもBOX)を作業場に設置し、意見を聴くことが出来るシステムを構築している。また、利用者は話しやすい職員に話せるように環境を整え、相談室の使用も可能としている。</p>		
	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>上記に同じ</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>年1回、事故発生時マニュアルの読み合わせを行っている。刃物の使い方についても説明し、危険な場面では必ず言葉掛けをするように工夫している。親会社の企業が半年ごとに施設へ訪問され、環境の確認も行っている。</p>		
	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>感染症対策指針・業務継続計画を整備している。ここ数10年、インフルエンザに罹った方はおらず、作業場では手洗いや消毒を徹底している。毎日、検温をは実施して、個人日報に記録している。</p>		
	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>年2回、日中の災害時における避難訓練を実施した。一人暮らしの利用者へは、相談支援専門員と連携している。また、夜間の災害については、生活環境を考えて個別対応をしている。今後地域を交えての災害対策の構築に期待致します。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-①	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画書により明記している。利用者が何をしたいかを考えて、プランを作成している。自分のやりたいことを明確にした上で、聞き取りを行っている。ヒアリングシートを活用して、より細かく聞き取りができるように工夫している。気になったことは職員間で情報共有をしている。6ヶ月に1度、モニタリングの見直しを行っている。</p>		
Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>上記に同じ</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントに基づく個別支援計画を適切に策定している。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>サービス管理責任者が中心となっている。モニタリングで利用者と個々に面談を行い、やりたいことや困ったことなど、様々な方面から聞き取りするように工夫している。利用者や職員の意向や思いがプランの中に盛り込まれている。</p>		
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>利用者に状況変化があれば、その都度個別支援計画の変更を行っている。他、上記に同じ。</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>フェイスシートや日々の記録を共有することで、利用者の状況把握を行っている。大きすぎる目標設定しない、できることを書くなど職員間で統一している。随時閲覧ができる場所で保管している。</p>		

Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>利用契約時に個人情報の取扱いについて説明をしている。個人情報については鍵のついたロッカーにて保管している。</p>	

評価対象Ⅳ 具体的なサービス内容

Ⅳ-1 利用者の尊重と権利擁護

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 自己決定の尊重	
Ⅳ-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>事業所内外を問わずに活動支援をしている。相談支援員と連携して、利用者の生活を支える活動に取り組んでいる。利用者がその人らしく生活できるように環境整備を行っている。</p>	
Ⅳ-1-(2) 権利侵害の防止等	
Ⅳ-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>行政主体の権利擁護研修会に参加した。研修後には、勉強会を事業所内で実施して、意識を高めている。運営規定にも明記しており、何かあれば随時検討するようにしている。</p>	

Ⅳ-2 生活支援

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 支援の基本	
Ⅳ-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a · (b) · c
<p><コメント></p> <p>現在、4名の方がGHより通所している。将来を見据えての情報提供や見学を実施して、選択肢が広げられるように工夫している。何かあれば支援機関との連携を図っている。</p>	

	IV-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>利用者の状態に合わせて必要な支援を行い、情報提供をしている。利用者の状況に応じて、決意表明をする場を設け、コミュニケーション能力を高めている。発語が難しい方へは、1対1での場を設けたり、筆談したりして、意見が述べやすいように配慮している。</p>		
	IV-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>上記に同じ</p>		
	IV-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		
	IV-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>作業の配置場所や作業内容の変更により、利用者間の人間関係の調整を行っている。新たな気づきがあれば、職員間で情報を共有して、環境作りに努めている。</p>		
IV-2-(2) 日常的な生活支援		
	IV-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		

IV-2-(3) 生活環境		
IV-1-(3)-①	利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		
IV-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
IV-2-(4)-①	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		
IV-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
IV-2-(5)-①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>必要に応じて、利用者には言葉掛けを行っている。看護師が常駐しているので、何かあれば安心して任せることができる。服薬についても適宜言葉掛けを行っている。</p>		
IV-1-(5)-②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>非該当</p>		
IV-2-(6) 社会参加、学習支援		
IV-2-(6)-①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>行事やイベントがある際には、アナウンスを行い、参加を促している。</p>		

IV-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
IV-2-(7)-①	利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>他機関との連携を積極的にに行い、希望と意向を実現できるよう支援している。</p>		
IV-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
IV-2-(8)-①	利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>事業所内で何か変わったことがあれば、家族への報告を行っている。家族からも気づいたことや気になることがあれば、連絡をして頂ける関係が形成されている。インフルエンザの予防接種の代金が給料から引かれていることを伝えたり、家族の方がコロナに感染した際には、家庭や保健所との連携を図ったりした。</p>		

IV-3 発達支援

		第三者評価結果
IV-3-(1) 発達支援		
IV-3-(1)-①	子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>日中一時支援事業も行っている。他の療育機関との連携は行っており、子供に対する対応を共有している。</p>		

IV-4 就労支援

		第三者評価結果
IV-4-(1) 就労支援		
IV-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>適材適所へ配置している。製品の管理では、作業の箱を間違いないように、わかるように伝票を置くように工夫した。作業の箱を利用者自身に運んで頂くことで、間違いがないようにも配慮している。また、外部講師を招いてのマナー講座や履歴書の書き方講座を実施した。</p>		
IV-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>作業時間・作業内容は入社時に話し合っ決定している。色々な作業を準備して、納得して頂けるように説明している。利用者の意見を尊重した上で、適材適所に配置している。取引先とは、作業単価の交渉も行っている。</p>		
IV-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	○a・b・c
<p><コメント></p> <p>関係機関との連携して、仕事の機会拡大を図っている。障害者就業・生活支援センターやハローワークとの連携も取れている。利用者の特性に合わせた就労支援をするために、企業見学や体験の機会を提供している。企業側に対しては、通勤や特性に合わせて合理的配慮もなされている。</p>		